

<令和元年度 地球温暖化対策実行計画の施策実施状況の公表について>

地球温暖化対策の推進に関する法律第20条の3第10項の規定に基づき、岩手沿岸南部広域環境組合の地球温暖化対策実行計画の施策実施状況を以下のとおり公表します。

令和2年10月1日

岩手沿岸南部広域環境組合
管理者 釜石市長 野田武則

1. 温室効果ガス排出量

年 度	温室効果ガス排出量	前年度比	目標年度比
平成28年度(基準年度)	19,359 t (CO2)	100.56%	105.26%
平成29年度	20,378 t (CO2)	105.26%	110.80%
平成30年度	23,062 t (CO2)	113.17%	125.40%
令和元年度	22,364 t (CO2)	96.97%	121.60%

目標年度(令和3年度)温室効果ガス排出量=18,391 t (CO2)

※平成28年度(基準年度)の5%削減を目標

令和元年度は、目標年度の温室効果ガス排出量を達成することが出来ませんでした。

2. エネルギー使用量の目標達成状況

種 別	平成28年度 (基準)	平成29年度	平成30年度
コークス (t)	1,641	1,742	1,693
A重油 (KL)	241	308	246
昼間電力(千kwh)	169	172	162
夜間電力(千kwh)	124	114	125
軽油 (L)	3,476	3,388	3,307

種 別	令和元年度	前年度比
コークス (t)	1,590	93.91%
A重油 (KL)	170	69.10%
昼間電力(千kwh)	129	79.62%
夜間電力(千kwh)	91	72.80%
軽油 (L)	3,439	94.91%

種 別	令和3年度 (目標)	平成29年度	平成30年度
コークス (t)	1, 559	1, 742	1, 693
A重油 (KL)	229	308	246
昼間電力(千kwh)	161	172	162
夜間電力(千kwh)	118	114	125
軽油 (L)	3, 302	3, 388	3, 307

種 別	令和元年度	目標年度比
コークス (t)	1, 590	101.98%
A重油 (KL)	170	74.23%
昼間電力(千kwh)	129	80.12%
夜間電力(千kwh)	91	77.11%
軽油 (L)	3, 439	104.14%

3. 温室効果ガス排出量について

令和元年度の温室効果ガス排出量が平成30年度と比較して減少しました。
震災により減少した通常生活ごみは、震災前の水準に戻り、減少しました。

年 度	通常生活ごみ	災害ガレキ	合 計
平成28年度	31, 819 t	22 t	31, 841 t
平成29年度	31, 237 t	0 t	31, 237 t
平成30年度	30, 661 t	0 t	30, 661 t
令和元年度	29, 766 t	205 t	29, 971 t

エネルギー使用量 (バイオマス燃料使用の取り組み)

令和元年度は、平成30年度と同様に温室効果ガスの対策として、バイオマス燃料(木質チップ)を使用しました。

コークスの使用量及びA重油使用量が減少し、A重油については平成33年度の目標を達成しましたが、コークスについては目標を達成することが出来ませんでした。

4. 今後の対応

ごみ量が減少傾向にあることから、今後はCO₂発生量も抑制されるものと期待されますが、バイオマス燃料のより効果的な活用を図り、更なる燃料等の節約に努め、前年度の実績を下回るように努力してまいります。